

平成 26 年度 事業シート

第5次廿日市市総合計画（後期基本計画）

基本目標 2 新たな魅力と活力を創出し、交流するはつかいち
 政策目標 5 「宮島」を中心として、多くの人が訪れるまちに
 重点的取組 3 観光資源をネットワーク化する

担当課名	環境産業部 観光課		
予算科目	会計	01	一般会計
	款	06	商工費
	項	01	商工費
目	目	03	観光費

事業名	観光資源ネットワーク化事業	事業開始年度	平成 年度
	滞在周遊型観光の推進事業 3	根拠法令 条例 個別計画等	—

1 事業の目的、意図

目的	【対象】誰の(何の)ために	【目指す姿・意図】(いつまでに、どういう状態に)
	国内からの観光客	<ul style="list-style-type: none"> ○沿岸部の周辺地域との連携により滞在・回遊型観光の観光客が増加する ○広域周遊ルートの形成により滞在型の観光地となる ○日本三景の認知度向上により観光客が増加する

2 事業の実施主体・関係団体・役割

実施主体	関係団体(パートナー)	事業実施に係る市役所(職員)の役割
各協議会	各協議会の構成員	<ul style="list-style-type: none"> ○協議会負担金の支出 ○協議会での広報宣伝、誘客活動、情報交換及び事業調整 ○観光素材の掘り起こしや観光ルートの企画設定など

3 平成26年度 予算(事業の内容・コスト情報・目標到達見込)

活動内容	○広域的観光推進のための各種団体への負担金 近隣地域との広域連携や宮島の知名度を生かした観光のネットワークにより、市内での滞在・回遊型観光を推進することを目的に、次の協議会へ負担金を支出する。
	<p>【歳出】 広島・宮島・岩国地方観光連絡協議会負担金 1,000 千円 近隣の自治体や観光関係事業者で構成される協議会で、地域内での回遊型観光推進を目的に、観光宣伝隊や各種招聘事業の実施や広域ガイドブックの作成などを実施する。</p> <p>日本三景観光連絡協議会負担金 600 千円 日本三景の「宮島」「天の橋立」「松島」を有する本市、京都府宮津市及び宮城県松島町の各自治体と観光協会で構成される協議会で、日本三景の知名度を生かして主に首都圏を中心に誘客活動の実施やホームページの維持管理を行っている。</p> <p>○瀬戸内しまのわ2014実行委員会負担金 瀬戸内海国立公園指定80周年を記念して、広島県と愛媛県の両県とその沿岸部自治体が共同で開催する「瀬戸内しまのわ2014」に要する経費への負担を行う。 主な事業内容としては、大規模に集客を図るメインイベント、各市町等公的な団体が実施する自治体企画イベント及び地域住民グループ、企業等が実施する民間企画イベントを行う予定。</p> <p>【歳出】 瀬戸内しまのわ2014実行委員会負担金 820 千円</p>

コスト情報(円)	項目	平成 24 年度決算	平成 25 年度予算	平成 26 年度予算
	財源内訳	直接事業費 A	2,700,000	2,160,000
国庫支出金				
県支出金				
借入金(市債)				
その他(使用料など)				
	市(市税など)	2,700,000	2,160,000	2,420,000
	人件費(按分) B	0.40 人 3,508,800	0.40 人 3,500,800	0.40 人 3,404,400
	総事業費(A+B)	6,208,800	5,660,800	5,824,400
ト換算	① 人口(4月1日現在)	118,000 人	118,000 人	117,680 人
	市民1人当たり	53	48	49
	② 市の総観光客数	7,292,741 人	5,700,000 人	6,000,000 人
		1	1	1

到達目標	活動及び成果指標	単位	H24実績値	H25目標値	H26目標値	H27目標値	備考
	活動	観光客誘客活動		—	—	—	—
成果	市の総観光客数	万人	729	700	700	700	